

犯罪をした人の およそ2人に1人は ○○○です。

新たな被害者を生まない、誰もが安心して暮らせる社会にするために、
どうしたら再犯を防ぐことができるのか、一緒に考えてみませんか？

令和5年度 東北ブロック

再犯防止シンポジウム

検察庁が関わる社会復帰支援
～国と地域社会の連携～
みんなでつなぐ支援の輪

令和6年
2/16(金)

12時30分～16時30分(12時開場)

会場：仙台国際センター(大ホール)
仙台市青葉区青葉山無番地

入場無料
事前予約不要

基調講演

刑事司法と地域社会の 「あいだをつなぐ」

はやし まこと
林 眞琴氏

前検事総長
元仙台地方検察庁検事正



プログラム

- 12:00 開場(受付開始)
12:30 オープニング演奏会
東北大学学友会吹奏楽部 演奏テーマ「つながる心」
13:15 開会挨拶
仙台高等検察庁検事長 上富 敏伸
13:20 来賓挨拶
宮城県知事 村井 嘉浩氏/仙台市長 郡 和子氏
13:30 基調講演
刑事司法と地域社会の「あいだをつなぐ」
前検事総長 林 眞琴氏
14:10 「再犯防止」ってなに？
東北大学法科大学院特任准教授
仙台高等検察庁検事 柏木 良太
14:45 パネルディスカッション
社会復帰支援・多機関連携～現状と課題～

- パネリスト ※五十音順
- 石坂 真美氏(仙台保護観察所 社会復帰対策官)
 - 大友 拓弥氏(仙台市 健康福祉局 地域福祉部 社会課地域福祉係 主事)
 - 佐藤 岳彦氏(宮城県地域生活定着支援センター 相談員)
 - 西澤 英之氏(仙台地方検察庁 社会福祉アドバイザー(社会福祉士))
 - 船山 雄司氏(山形地方検察庁 副検事)
 - 谷津 聡氏(一般社団法人 シルバーパートナーズ 理事)
 - 山田 貴洋氏(宮城刑務所 分類審議室 首席矯正処遇官)
- コーディネーター
- 田中 尚氏(東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授)

- 16:25 閉会挨拶
東北地方更生保護委員会委員長
原沢 和茂

オープニング 演奏会

東北大学学友会
吹奏楽部



刑務所作業製品展示即売会



数量限定



詳しくはこちらへ



携帯電話のご利用
マナーにご協力ください

■主催 / 仙台高等検察庁、仙台矯正管区、東北地方更生保護委員会、仙台法務局
■お問い合わせ / 東北ブロック再犯防止シンポジウム事務局 仙台高等検察庁企画調査課内
TEL022-222-0752

仙台高等検察庁 再犯防止 🔍 検索

「再犯防止」ってなに？

刑法犯で検挙された人の約半数が再犯者です。

罪を犯した人の中には、仕事や住居、高齢、貧困、精神障がいなどの面で支援を要する 경우가多く、再び犯罪を行わないためには、刑事司法と地方公共団体、民間福祉機関などの地域社会が連携し、必要とする支援につなぐことが重要です。

本シンポジウムは、かねてから連携を進めてきた各機関の取組の現状や課題を共有して相互理解を深めるとともに、地域の皆さんに各機関の取組を理解していただき、「支援の輪」を広げていくことを目指すものです。

基調講演：刑事司法と地域社会の「あいだをつなぐ」

林 眞琴氏

昭和58年検事任官。法務省矯正局総務課長として監獄法改正を実現するとともに、平成25年、仙台地方検察庁検事正として再犯防止支援等を行う「刑事政策推進室」を全国に先駆けて立ち上げる。検察改革及び刑事司法制度改革に取り組み、法務省刑事局長、東京高等検察庁検事長、令和4年まで検事総長の要職を歴任。

的確・適正な検察権の行使とともに、多機関連携を核とした再犯防止等の刑事政策実現を目指し、刑事司法と地域社会の相互理解に支えられた連携の重要性を説く。

パネルディスカッション：社会復帰支援・多機関連携～現状と課題～

パネリスト（五十音順）

石坂 真美氏【仙台保護観察所 社会復帰対策官】

平成12年から保護観察官として札幌、函館等の保護観察所等に勤務。現在、仙台保護観察所社会復帰対策官として、罪を犯した者の再犯を防止するため、特別調整、更生緊急保護等の特別支援等を担当し、検察庁等や地域の支援団体との調整に当たる。

大友 拓弥氏【仙台市健康福祉局 地域福祉部 社会課地域福祉係 主事】

令和3年、仙台市役所に採用。現在、仙台市健康福祉局社会課の再犯防止推進担当として、仙台保護観察所・仙台矯正管区等とともに仙台市再犯防止推進ネットワーク会議を運営し、関係機関同士の情報共有や支援者向けツールの作成等に取り組む。

佐藤 岳彦氏【宮城県地域生活定着支援センター 相談員】

平成12年社会福祉士資格取得。岩手県の地域生活定着支援センターに勤務した後、平成27年からNPO法人ワンファミリー仙台に所属し、宮城県地域生活定着支援センター職員として出口支援及び入口支援※に従事。現在は、居住支援業務（及び障害者相談支援事業所）を総括管理している。

西澤 英之氏【仙台地方検察庁 社会福祉アドバイザー（社会福祉士）】

平成16年社会福祉士資格取得。地域包括支援センター等で勤務した後、令和2年から仙台地方検察庁の社会福祉アドバイザーとして罪を犯した者の社会復帰支援に関する助言等を行う。令和4年、合同会社名取りんくうタウン・クリエイトふくし代表及び宮城県社会福祉士会事務局長就任。

※入口支援…一般に、矯正施設出所者を対象とし、矯正施設から出所した後の福祉的支援という意味での「出口支援」に対して、刑事司法の入口の段階、すなわち、起訴猶予、刑の執行猶予等により矯正施設に入所することなく刑事司法手続を離れる者について、高齢又は障害等により福祉的支援を必要とする場合に、検察庁、保護観察所、地域生活定着支援センター、弁護士等が、関係機関・団体等と連携し、身柄釈放時等に福祉サービス等に橋渡しするなどの取組をいう。

船山 雄司氏【山形地方検察庁 副検事】

平成7年副検事任官。東北を中心に勤務し、平成29年から仙台高等検察庁事務取扱副検事を兼任。山形地方検察庁において、社会福祉協議会、地域住民等と連携したケア会議を開催するなど、入口支援※の実績を多数持つ。

谷津 聡氏【一般社団法人 シルバーパートナーズ 理事】

平成21年、株式会社日本シナジーマネジメントを起業。現在、仙台市を中心に、生活困窮者、高齢者、ひとり親世帯、刑務所出所者等に対して、相談・住居の提供、入居支援等を行っている。平成30年に一般社団法人シルバーパートナーズに加盟。令和2年同理事就任。

山田 貴洋氏【宮城刑務所 分類審議室 首席矯正処遇官】

平成9年、盛岡少年院に採用。その後、仙台矯正管区、法務省矯正局、東北少年院での勤務を経て、現在、宮城刑務所分類審議室首席矯正処遇官として勤務。出所者の再犯防止のため、社会復帰支援を統括し、受刑者の帰住先や就労先の確保、医療・福祉支援体制の構築等を行う。

コーディネーター

田中 尚氏【東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 教授】

精神医療機関等でのソーシャルワーカーとしての勤務や岩手県立大学教授等を経て、平成30年から東北福祉大学総合福祉学部教授。福祉専門職者のジレンマと対策の研究を通じて、ソーシャルワークの理論と実践の統合や福祉実践システムの構築を目指す教育等に取り組む。

会場アクセス

仙台駅から徒歩約30分。

仙台市地下鉄東西線「国際センター駅」から徒歩約1分。

会場にお越しの際は、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

